



所要ノ準備ヲ爲シ更ニ散鹽貯藏ヲ計リ不時ニ備ヘ供給ノ圓滿ヲ期セリ

鹽ノ生産ニハ豐凶アルヲ以テ需給ノ均衡ヲ保持セムトセハ收納官署ニ在リテモ常時適當ニ貯藏ヲ爲スノ要アリ收納官署ニ於ケル散鹽貯藏ノ實行ハ全ク此ノ目的ニ外ナラス

收納官署ニ於ケル備荒用散鹽貯藏方ニ關スル件

明治四十二年六月  
丁第三八四號通牒

鹽作八年ニ依リ豐凶アリト雖其ノ消費額ハ概シテ毎年一定セルモノト認ム政府專賣ヲ爲ス以上ハ豐年ニ在リテハ法律ニ依リ其ノ製造ヲ制限シ凶年ニ在リテハ外鹽ヲ輸入シテ其ノ不足ヲ補フハ當然ナルカ如シト雖其ノ實行ニ至リテハ此ノ兩者共ニ困難ノ事情アリテ容易ニ決行シ難シ專賣施行ノ初年タル三十八年ハ稀有ノ凶作ナリシヲ以テ其ノ供給ノ不圓滿並鹽價ノ暴騰ニ付當局者頗ル苦心セシモ幸ニ外鹽ノ輸入又ハ前年ノ鹽作法施行前ノ見越製造額持越等ニ依リテ漸ク此ノ難局ヲ經過スルヲ得タリ

反之四十一年度ハ比較的豐作ナリシヲ以テ年度更新ノ際約一億萬斤ノ持越品ヲ有シタリ其ノ後百方販賣方ニ付盡瘁シタルモノ之ト同時ニ新規收納鹽ノ堆積ヲ來シ結局八、九千萬斤ハ停滯スルヲ免レサル實況ナリ其ノ結果一二ノ支局ニ在リテハ目下收納ニ支障ヲ來サムトスルノ狀況ナリ

抑モ政府カ專賣法ヲ施行シテ鹽ノ供給ヲ一手ニ獨占シ鹽價ノ平準ヲ保タシムルト同時ニ年ノ豐凶ニ拘ラス圓滿ナル供給ヲ爲サムト欲セハ少クトモ一箇年消費額ノ一割位ハ常時之ヲ保存スルノ必要アリト認ム故ニ豐年ニ在リテハ其ノ超過分ヲ別途貯藏シテ收納ニ差支ナカラシメ凶年ニ在リテハ之ヲ以テ其ノ不足ヲ補フハ頗ル機宜ニ適セルノ策ナルヘシ依テ此ノ際左ノ方法ヲ執ラントス

一 貯藏鹽ハ之ヲ販賣官署ニ回送セシテ收納官署ニ保存スルコト

二 貯藏鹽ハ一箇年消費額ノ約一割即一億萬斤位ヲ適當ト認ムルモ差向之ニ應スヘキ貯藏倉庫ナキト及多額ノ專賣資金ヲ固定セシムル虞アルヲ以テ此ノ際差向キ二千三百萬斤トスルコト而シテ其ノ貯藏官署別數量ヲ左ノ如ク定ムルコト

撫養專賣支局

八百萬斤

阪出專賣支局

八百萬斤

味野專賣支局

三百五十萬斤

三田尻專賣支局

三百五十萬斤

右ハ各支局管内全體ヲ通シテノ數量ナルヲ以テ管内各出張所分ハ別ニ調査シテ適當ニ區分スルコト後段所要坪亦同シ

三 包裝シタル鹽ヲ貯藏スルトキハ其ノ包裝汚損スルノミナラス品質亦比較的改善セラレサルヲ以テ散鹽ノ儘貯藏スルコト

四 前項ノ結果收納モ亦散鹽ニ依ルコト其ノ方法トシテハ納付ノ爲ニ一定容量ノ古灰ヲ數回使用セシメ包装材料ハ別途納付セシ

ムルコト但シ目下撫養、阪出等ニハ多分ノ停滯鹽アルヲ以テ此ノ際ニ限り包裝量目共損減シタル既收納鹽ヲ散鹽トシテ貯藏田ニ供スルコト而シテ其ノ數量ハ調査ノ上決定スヘシ

五 貯藏用ニ振向クヘキ鹽ハ毎月管内賣及回送拂出ヲ爲スヘキ見込殘額ヲ以テ之ニ充ツルコト

六 貯藏鹽ハ其ノ他ノ收納鹽ト區分シ毎月其ノ現在高ヲ本局ニ報告セシムルコト而シテ本局ニ於テ貯藏鹽中ヨリ回送ヲ爲サシムトスルトキハ特ニ其ノ旨ヲ通知スルコト

七 散鹽貯藏ノ爲現在倉庫ノ一部ニ模様替ヲ爲シ一坪約八千斤ヲ通常積トスルコト然ルトキハ其ノ所要坪數ハ左ノ如シ

撫養專賣支局

一千坪

阪出專賣支局

一千坪

味野專賣支局

四百坪

三田尻專賣支局

四百坪

八 倉庫ノ模様替ハ大約左ノ通トスルコト

(イ) 床ハ現在ノ通ニシテ可(即約一尺深サニ石岩設ヲ埋メ其ノ上ニ一寸位細砂ヲ撒キ尙簀子ヲ敷クコト)

(ロ) 倉庫ヲ間口三間毎ニ區分シ九尺高サ迄横板ヲ嵌メ取り放シ自在ナラシムルコト

(ハ) 戸前竝窓ハ平素密閉シ大氣ノ流通ヲ止ムルコト

九 賣渡ノ際ハ勿論、賣渡當時ノ等級ニ依ルコト(散鹽貯藏ナルヲ以テ品質上進スルコト疑ナカラム從テ數量減少スルモ價格ニ於テ増加スル傾向アリ)

十 賣渡ノ爲包裝スル手間賃ハ勿論官ノ負擔タルコト

十一 大阪ニハ目下八百萬斤ノ停滯鹽アリ當分賣行見込ナシ又一方ヨリ見レハ大阪ハ國ノ中央ニ位スルヲ以テ各地ニ對シ運搬ノ便宜アリ故ニ前記數量ノ外特ニ大阪ニモ貯藏鹽ヲ置クコトトシ現下ノ停滯鹽ヲ以テ之ニ充テ散鹽トシ其ノ儘保存スルコト

販賣官署ニ在リテモ散鹽貯藏ヲ實行セリ

販賣官署ニ於ケル備荒用散鹽貯藏ノ件

明治四十二年七月  
丁第四三四三號通牒

曩ニ備荒用鹽ハ收納官署ニ貯藏スルコトニ決定相成居候處今般主ナル販賣官署ニ於テモ亦此ノ目的ヲ以テ散鹽貯藏ヲ爲スコトトシ左記各項ノ通決定相成候間當該支局ニ於テハ右實行方此ノ際至急御取運相成度

一 備荒用鹽トシテ東京、仙臺、青森、函館、土崎、新潟、直江津、境、四日市ノ各支局所ニ散鹽貯藏ヲ開始スルコト(此ノ他大阪ハ既定ノ通)

二 右數量ハ各所共其ノ署管内ニ於ケル官費回送鹽賣下高ノ約一割ヲ標準トシテ當時貯藏スルコト但シ直江津、新潟、土崎ニ在リ

鹽專賣

鹽ノ貯藏、回送

貯藏

テハ冬期三箇月分ノ所要數量ヲ見積リ貯藏スルコト  
 三 散鹽貯藏數量ハ一坪毎ニ一萬斤ノ割合ヲ以テ相當ノ高サ迄積上ケルコト  
 四 前二項ニ依リテ算出シ且相當ノ査定ヲ加ヘ各地ニ於ケル散鹽貯藏用倉庫坪數及貯藏數量ヲ左ノ如ク定ムルコト

東	仙	青	函	土	新	直	日	境	計
東京	仙臺	青森	函館	土崎	新湊	直江津	日市	境	
五〇〇	三〇〇	一〇〇	一〇〇	六五〇	五〇〇	六〇〇	五〇〇	一〇〇	三、三五〇
坪									
五、〇〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	六、五〇〇	五、〇〇〇	六、〇〇〇	五、〇〇〇	一、〇〇〇	三三、五〇〇
千斤									
豫定數量									

五 倉庫ハ散鹽貯藏ニ適當ナル限度ニ於テ貸主ヲシテ修繕ヲ爲サシメタル上借入ルルコトトシ此ノ際至急借入方上申ノコト但シ  
 現在借入倉庫ニ修繕ヲ加ヘ散鹽貯藏用トシ其ノ代リ包裝貯藏用トシテ他ニ相當坪數ヲ借増スルモ妨ナシ  
 (附記)産地ニ於ケル散鹽貯藏倉庫ハ間口三間毎ニ仕切り出入口ハ約一間トシ横ニ嵌板ヲ爲シ自由ナラシメ周圍壁側ニハ三尺毎  
 ニ三寸角又ハ末口三寸五分丸太柱ヲ堀建テ上部ハ閉止メ繋取リヲナシ之ニ竹箆子ヲ横ニ打付ケ内部ニ筵ヲ附著ス床ハ約一尺ヲ  
 掘リ石炭殻並細砂ヲ埋メテ苦汁ノ浸出ニ便ナラシメ且其ノ苦汁ハ底ヲ通シテ外部ニ設クル溜ニ自然流出スル裝置ヲ爲セリ但シ  
 今回借入ルヘキ民庫修繕ニ付テハ必シモ右ニ依ルヲ要セサルモ參考トシテ玆ニ附記ス

六 散鹽貯藏ニ供スヘキ鹽ハ發送元ニ於テ新規收納成ルヘク倉庫ニ入レテ直ニ船重積トスルヲ可トスノモノヲ選擇スヘキハ勿論同送先ニ於テハ到着後直ニ解  
 包シテ倉庫ニ貯藏シ其ノ包裝ハ丁寧ニ鹽ヲ掃除シ濕潤セルトキハ之ヲ乾燥シタル上適宜ノ場所例ヘハ倉庫天井ニ竹又等ニ保存シ鼠  
 蟲害又ハ濕油腐蝕等ナキ様注意スルコト但シ繩ハ原包裝ノモノヲ使用スルコト能ハサルヘキニ依リ之ヲ棄却シ販賣ノ際結束ニ  
 要スルモノハ其ノ他ニ於テ購入スルコト

七 貯藏ニ供スヘキ散鹽ハ前項ノ如ク包裝新シキモノヲ選擇スルコトヲ目的トスルモ收納官署又ハ販賣官署貯藏ノ包裝鹽ニシテ停滯久シキニ涉リ著シク包裝汚損シ又ハ量目缺減シタルトキハ特ニ散鹽貯藏ニ供スルコト此ノ場合ニ於テハ他日賣渡ノ際新規ニ包裝スルコト

八 貯藏鹽賣渡ノトキハ賣渡當時ノ品質ヲ鑑定シ之ニヨリテ其ノ等級ヲ定ムルコト

(名古屋專賣支局ニハ左ノ追書ヲ付スルコト)追テ四日市貯藏ニ付テハ官庫ヲ使用スルヲ以テ第五項ノ手續ヲ不要且尙詳細ノコト別途通牒可致候

更ニ又鹽ノ圓滿ナル供給ヲ期シ販賣官署ニテ回送鹽ノ準備貯藏ヲ爲セリ

販賣官署ニ於ケル回送鹽準備貯藏ノ件

明治四十四年六月  
丁第一九八七號通牒

一 兩年來鹽ノ産額饒多ナルニ拘ラス地方ニ依リテハ動モスレハ時ニ或ハ鹽缺乏ノ聲ヲ聞クハ實ニ遺憾ニ被在候之各地ニ販賣官署又ハ引渡場所ヲ設置セラレタル結果元賣捌人ハ何時ニテモ其ノ需要數量ヲ買受ケラルルモノト考ヘ成ルヘク金利及倉敷料等ヲ節約セムカ爲目前應急ノ分ノミ買取り居ルカ爲ナラムトモ被察候故ニ一旦需要期ニ際スレハ急迫ノ請求ヲ爲ス向不尠ト雖其ノ回送ニ付テハ船車ノ差繰ニ相當期間ノ準備ヲ要スルハ勿論當該等級包裝鹽ノナキコトモ有之且又場合ニ依リテハ其ノ發送元ノ變更ヲ要スルコト等モ有之旁急速發送シ得サルコト多多有之殊ニ一朝船舶貨車ノ不足又ハ交通上故障ヲ生シタル等ノ場合ニ於テハ當該地方ニ對シ鹽ノ供給ヲ絶ツコトナキヲ保セス就テハ豫テ及通牒置候通元賣捌人ヲシテ相當準備鹽ヲ買置カシムヘク之ト同時ニ販賣官署ニ於テモ亦當時相當數量ノ準備鹽ヲ貯藏シ置クノ必要可有之ト被在候依テ今般別紙ノ通其ノ貯藏計畫ヲ爲スコトニ局議決定相成候ニ付テハ販賣官署ニ於テハ左記ノ點御注意相成度尙右ノ計畫ニ基キ現在倉庫ノ過不足アル向ハ此ノ際必要倉庫ノ借増又ハ返還ヲ爲スト同時ニ新ニ散鹽貯藏ヲ要スル向ハ四十二年七月一日付丁第四三三三號通牒ノ方法ニ準據シテ之ニ必要ナル模様替ヲ爲シ其ノ收容力準備成立ノ上ハ等級別包裝鹽回送所要數量取調申報可相成

一 貯藏計畫ハ散鹽ニ付テハ賣下高ノ約一箇月分(現在散鹽貯藏ハ所除ク)包裝鹽ニ付テハ賣下高ノ約二箇月分ヲ貯藏スルコトヲ標準トシ尙地方ノ狀況ニ依リ査定ヲ加ヘタルモノニシテ包裝鹽中約二箇月分ハ供給不足ノ場合ニ於ケル準備用トシテ當時貯藏シ他ノ一箇月分ハ毎月ノ請求ニ依リ賣渡スヘキ分ニ充ツ而シテ散鹽ハ固ヨリ備荒用ナレトモ貯藏後六箇月目位ニハ之ヲ拂出シ且成ルヘク同時ニ補充シ得ル模様メ相當時期ニ回送ヲ請求スヘシ準備用トシテ貯藏スル約一箇月分ノ包裝鹽モ永ク保存スルトキハ包裝汚損スルヲ以テ毎月賣下高ノ約半數ハ此ノ準備用鹽ヲ拂出シ同時ニ新規回送鹽ヲ以テ其ノ拂出額ヲ補充シ新陳代謝シテ一箇月分ハ常時保存シ得ル様取計ハレ度從テ毎月賣渡用トシテ回送請求スヘキ額ハ常ニ右準備用以外ノ鹽ニシテ其ノ到着毎ニ船車渡又ハ

鹽專賣

鹽ノ貯藏、回送

貯藏

倉庫渡トシテ賣下クヘキモノナレトモ其ノ賣下高ノ約半分ハ前記ノ如ク準備用鹽ヲ充當スヘキモノナルニ依リ其ノ剩餘額ハ即準備用鹽ニ繰入ルルコト

右ハ平常ノ場合ニ於ケル賣下方ナルモ地方ノ狀況ニ依リ期節ニ應シ特ニ需用高増進スル場合ニ於テハ之ヲ豫見シ一方賣捌人ノ持荷ヲモ勘案シ豫メ相當數量ノ回送ヲ請求スヘク之ニ反シテ收納ノ最盛期又ハ回送、貯藏上ノ都合ニ依リテハ販賣官署ニ於ケル前記受拂ノ標準數量ヲ超過シテ本局ヨリ回送命令ヲ發スルコトアルハ固ヨリ已ムヲ得サル義ト承知セラルヘキコト

二 引渡場所ニ在リテハ概シテ官庫ノ設備アラサルヲ以テ其ノ地方ノ元賣捌人ヲシテ特ニ相當準備ヲ爲サシムルノ要アリ故ニ彼等ヲシテ少クトモ一箇月位ヲ支ヘ得ヘキ鹽ノ準備貯藏ヲ爲サシムヘク從テ時時回送引渡ヲ請求スル鹽ハ遞次ニ約一箇月以後位ニ必要トスルモノニ付豫メ請求セシメ而モ其ノ到着次第必之ヲ引取ラシムル様注意シ置クコト

各販賣官署並引渡場所ニ於ケル回送鹽準備貯藏計畫數量

東	仙	郡	青	函	小	土	直	新
浦	平	山	森	館	樽	崎	田	江
京	賀	臺	仙臺	鹽金				
一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
千	千	千	千	千	千	千	千	千
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
千	千	千	千	千	千	千	千	千
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
一五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
千	千	千	千	千	千	千	千	千
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
千	千	千	千	千	千	千	千	千
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
千	千	千	千	千	千	千	千	千
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
千	千	千	千	千	千	千	千	千
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤
九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
千	千	千	千	千	千	千	千	千
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤

名	松	古	日	江	四	伏	敦	米	境	濱	高	熊	長	細	鹿	宮	阿
本	屋	市	尻	木	賀	子	田	知	本	崎	島	島	島	兒	久	計	
二、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	五〇〇	五〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	五〇〇	一、〇〇〇	三〇〇	六八、八〇〇
一、〇〇〇	五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	五〇〇	四〇、五〇〇		
三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	三、〇〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇	五〇〇	五〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	一〇九、三〇〇

散鹽貯藏用回送鹽ニ在リテハ等級ニ異動ヲ生スルヲ以テ記號ヲ押捺セス無記號ノ儘ニテ回送セリ (明治四十四年六月丁第二〇一一號通牒)

大正三年度初ニ於ケル鹽ノ倉庫ハ左表ノ如ク四萬四千二百九十九坪ヲ算セリ内三割強ハ借庫ヲ使用シ外ニ函館、土崎等ニ於テハ保管寄託セルモノアリ

鹽ノ貯藏、回送 貯藏 鹽ノ貯藏、回送 貯藏

支局名		官		庫		借		庫		計
包	裝	備	荒	包	裝	備	荒	包	裝	計
鹽	鹽	散	鹽	鹽	鹽	散	鹽	鹽	鹽	
東	四三坪	一八六坪	二、六九三坪	四九一坪	三、二二七坪					
高	四九四	一八六	七〇四	四九一	二、一五七					
郡	二四〇		三九四	八九	四八三					
仙	二四〇		七八二	三六九	一、三九一					
山	九二一		三一七	二四八	九六九					
函	二〇〇		一、一六七	三六三	二、〇八八					
見	九六六		九五三	二、一八九	二、一八九					
名	六〇	二一〇	四九〇	一、七二〇	一、七二〇					
大	三五二		一、三六八	四九〇	四九〇					
金	四、一〇九	三八七	五五〇	一〇〇	四、一〇九					
神	二、四七六		一五三	三、五一一	三、五一一					
岡	二、五九八		五〇	二、七五一	二、七五一					
廣	四、六六五	四八〇	三三九	五、一六三	五、一六三					
阪	三、九六二	一、〇六二	二八	三、六五七	三、六五七					
德	二、六一四	一、〇一五	九八〇	二、八五〇	二、八五〇					
福	一、六七〇		四六五	一、〇六一	一、〇六一					
熊	四一四	八四	四三〇	七二三	七二三					
鹿	二九三		二、二二六	二、三六八	二、三六八					
兒	一、六〇七	三、六二八	二、二二六	四、四二九	四、四二九					
計	一、六〇七	三、六二八	二、二二六	四、四二九	四、四二九					

七六八



當時備荒用散鹽ノ貯藏モ漸加シ之ニ充當セル倉庫モ總倉庫ノ一割三分ヲ占メタリ

各收納官署ニ於ケル散鹽收納ハ四等鹽又ハ五等鹽ノ一種ニ限リタリシモ四、五等鹽ヲ同時ニ收納スルコトヲ承認シ此ノ場合ニハ之ヲ區劃シ貯藏スルコトニ指示セリ(大正三年一月甲第一四四號指示對徳島支局長)

貯藏六箇月以上ニ及ヘル散鹽ノ賣渡ハ支局長限リ決行セシメタリシモ當該出張所限リ決行差支ナキコトト爲セリ(大正三年三月甲第一〇四八號通牒)

冬季ニ於ケル上級鹽ノ需要ニ備フル爲支部長會議ニ際シ左記注意ヲ爲セリ(大正三年五月)

- 一 上級鹽ノ製造及散鹽拂出ニ關スル件
- 製鹽減少季ニ際シ上級鹽ノ要求アルモ之カ配賦不能ノ場合アルヲ遺憾トス向後收納官署ハ冬季間ニ於テモ可成之カ製造ヲ仕向クルト同時ニ收納官署ハ勿論販賣官署ニ於テモ冬季間ニ拂出得ヘキ相當時季ヲ見計ヒ散鹽貯藏ヲ爲シ以テ上級鹽需要ノ圓滿ヲ圖ルコトニ注意スヘシ

各回送先ニ於ケル準備貯藏計畫數量ハ從來ノ實蹟ニ照シ左ノ通改定シタリ

甲第一三一號部長通牒(大正五年五月二十九日)  
 明治四十四年六月二十日丁第一九八七號販賣部長依命通牒ニ係ル別記貯藏計畫數量ヲ左ノ通改定候間御了知相成タシ

各回送先ニ於ケル準備鹽貯藏計畫數量

郡	甲	平	浦	淺	回	送	先	包	裝	散	計
山	府	賀	草								
				一〇、〇〇〇	鹽						
				千斤							
				七〇〇							
				一、〇〇〇							
				八〇〇							
				二、〇〇〇							
				五、〇〇〇	散						
				千斤							
				一、〇〇〇							
				一、〇〇〇							
				八〇〇							
				三、〇〇〇	計						
				千斤							
				一五、〇〇〇							
				七〇〇							
				一、〇〇〇							
				八〇〇							
				三、〇〇〇							

鹽專賣 鹽ノ貯藏、回送 貯藏



鹽ノ準備貯藏ハ大體二億斤程度ニ在リシカ大正六、七年来鹽ノ需要俄ニ加ハリ同七年度ニハ内地産ノ鹽大凶作トナ  
 リ終ニ供給不足ヲ告クルニ至リシヨリ盛ニ輸移入ヲ計リ大體五億斤程度ノ貯藏準備ヲ爲スコトトシ官庫ヲ擴張スルノ  
 外借庫シ保管寄託シ爾來貯藏數量ハ著シク増加シタリ

鹽專賣

鹽ノ貯藏、回送

貯藏

七七二

那	細	宮	阿	鹿	島	熊	長	大	門	高	三	萩	濱	境	米	堺	大		
計			久	兒						津									
	潮	島	崎	根	島	原	本	崎	分	司	知	濱	田		子	阪			
六三、六〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	五〇〇	一、二〇〇	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇	五〇〇	一、二〇〇	六〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	一、二〇〇	五〇〇	一、〇〇〇
二七、七〇〇						一、〇〇〇	一、〇〇〇			五〇〇							一、〇〇〇		
九一、三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	五〇〇	一、二〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二〇〇	五〇〇	一、一〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	三〇〇	二、二〇〇	五〇〇	一、〇〇〇

輸移入鹽ハ輸移入取扱人ヲ特別元賣捌人ニ指定シ受入ト同時ニ賣渡ヲ爲シタリシモ輸移入鹽ノ一年販賣制ヲ改メ内地鹽ト同シク一般ニ元賣捌人ニ賣渡スコトトナシタルヲ以テ受入ノ際即賣スルモノノ外ハ倉入スルニ至レリ(大正八年四月甲第一九七七號通牒)

貯藏中ノ精製食卓鹽ニシテ包裝汚染シ商品トシテ取扱ヒ難キモノニ在リテハ製造官署ニ回送シ保管轉換スルコトニ取扱方指示シタリ(大正十一年五月甲第一八八六號指示對名古屋地方局長)

四等鹽ハ其ノ需要殆ト絶エ賣渡見込ナキニ至レルヲ以テ既收納無記號四等鹽ハ之ヲ散鹽貯藏トナシ大正十一年十一月以後收納ノ四等鹽ハ極力納付ヲ差控ヘシメ收納ヲ要スルモノハ散鹽トシテ貯藏スルコトト爲セリ

甲第三八五六號ノ一部長通牒(大正十一年十月三十日)

四等鹽ハ賣行極メテ不良ニ付製鹽業者ヲ督勵シテ其ノ納付量ノ減少ニ努メラレ度旨豫テ御通牒致置候得共產地收納高ハ尙比較的多量ニシテ逐次堆積高ヲ増加シ十一月分鹽回送高表ニ依レハ十州各局分合計ニテ約二百萬斤ノ停滞高ヲ算スル狀況ニ有之此ノ儘ニテハ到底近キ將來ニ於テ之カ消化ヲ期スル見込ナキノミナラス回送先ニ於テモ最早此ノ上受入貯藏ノ見込無之次第ニ付不得已十月末日迄ニ收納ニ係ル無記號四等鹽ニ限リ此ノ際現ニ散鹽貯藏設備ノ存スル範圍内ニテ各收納官署倉庫散鹽貯藏ヲ行フコトニ決定相成候條明治四十二年六月四日第三八四四號備荒用散鹽貯藏ニ關スル通牒ニ依リ御實行ノ上收納官署母ニ其ノ包裝別數量御申報相成度尙散鹽貯藏設備不足ノ爲其ノ實行ヲ了シ難キモノアラハ其ノ包裝別數量ヲ合併セテ御申報相成度

甲第四一四一號ノ一部長通牒(大正十一年十一月二十九日)

四等鹽ハ需要見込ナキニ付製鹽業者ニ對シ極力其ノ納付ヲ差控シムル様努メラレ度旨曩ニ御通牒致置候次第モ有之機宜ノ措置ヲ講シ其ノ目的ノ達成ニ努ラレツアルコトト存候得共尙此ノ點ニ付當業者ノ自發的覺醒ヲ促スコトニ一段ノ努力ヲ致サレ該鹽ノ減減ヲ期セラレ候様御施設相成度而シテ本年十月末日迄ニ收納シタル無記號四等鹽ハ過般產地ニ於テ散鹽貯藏ニ充當方及通牒置候處十一月以後收納ニ係ルモノモ差當リ他ヘ回送ノ見込無之ニ付左記ニ依リ產地ニ於テ散鹽貯藏ニ充ツルコトニ御取計相成度

一 十一月中收納シタル無記號四等鹽ハ此ノ際全部散鹽貯藏ニ充當スルコト

二 十二月以後收納スヘキモノニ付テハ極力四等鹽ノ納付ヲ差控ヘシムヘキハ勿論ナレトモ若製鹽場ニ於ケル貯藏場所ノ不足其ノ他納付ノ目的ニテ搬出後等級見込違等豫期セサル事情ニ依リテ四等鹽トシテ收納ヲ要スルカ如キ已ムヲ得サル場合ニ於テハ

其ノ收納検査後納付者ヲシテ指定倉庫ニ持込ミ解包倉入セシムルコトニ豫メ篤ト製鹽業者ニ周知諒得セシメ置キ右實施ノコト

各署ニ於ケル在庫多量ニシテ貯藏散鹽ノ拂出ヲ爲スハ倉庫經濟ノ趣旨ニ適ハサルヲ以テ特ニ回送命令指定等級鹽ニ收納不足ナル場合ノ外ハ散鹽ノ拂出ヲ爲ササルコトニ通牒セリ

甲第二一五二號部長通牒(大正十二年七月十七日)

鹽收納官署ニ於テ現ニ散鹽トシテ貯藏中ノ鹽ニ付テハ貯藏期間達成後ハ轉換貯藏ノ爲隨時拂出シ得ヘキ義ナレトモ目下各回送先尙多數ノ現在鹽ヲ擁シ居リ產地ニ於テモ極力倉庫利用ノ必要有之候折柄貯藏散鹽ノ隨時拂出ヲ爲スコトハ倉庫經濟ノ趣旨ニ副ハサルヲ以テ當分ノ間特ニ回送命令指定等級鹽ノ收納不足ニ因リ拂出ヲ要スル場合ノ外之ヲ拂出ヲ爲サス散鹽ノ儘貯藏ヲ繼續セラレ度追テ收納官署ニ於ケル散鹽現在高ハ必毎月提出セララル鹽回送高表備考欄ニ掲記シ其ノ拂出得ヘキ見込等級別數量ヲ内書附記セララル様御取扱相成度爲念

一貯藏區劃内ノ散鹽品質ハ各層上進程度ヲ同フセス大體二箇等級ニ分レ居リ上層拂出ヲ爲シタル後下層ニ在リテハ其ノ儘散鹽トシテ存置スルコトトナレルモ比較的少量ノ爲一區劃全部ヲ閉塞スルハ倉庫利用上不利ナルヲ以テ少時日内ニ等級上進ノ見込ナキモノニ在リテハ包裝ノ上貯藏スルコトヲ承認シタリ(大正十二年八月甲第二三九九號指示對坂出支局長)

鹽ノ貯藏ハ生産ノ時季ニ依リ貯藏計畫ヲ同フスルヲ得ス收納官署ニテハ收納旺盛ノ夏期ニハ大體一坪當七千三百斤ニ及ヘルモ冬期ニハ一坪當五千五百斤ニ下レリ尤モ散鹽ニ在リテハ一坪當八千斤乃至一萬斤ヲ標準ト爲セリ然レトモ官庫ノ設備十分ナラサル爲回送拂又ハ散鹽貯藏ヲ爲シ之カ調節ヲ計リ尙必要ニ臨ミテハ借庫又ハ保管寄託ニ依リ之カ補足ヲ講セリ

貯藏高ハ需給ノ狀勢ニ應シ常ニ増減アリテ各年度末在庫高同一ナラス大體一億斤乃至一億七八千萬斤程度ニアリシ

鹽專賣 鹽ノ貯藏・回送 貯藏

七七三

モ大正二年度以降一億斤ニ上ラス同六、七年末ニハ七千萬斤臺ニ止マリシカ需要ノ激増ヨリ移輸入鹽ヲ増加シ再製加工原鹽ノ輸移入ヲモ爲スニ至リ貯藏高ヲ増加シ大正八年度末在庫ハ二億斤ニ上リ同九年度ハ五億斤ヲ超エ爾來年度末在庫四億斤ヲ越ユルニ至レリ  
各年度末ニ於ケル貯藏高左ノ如シ

大正	在	庫	回	送	中	計
二年度末		九九、〇八八 <small>千斤</small>		一〇、〇〇五 <small>千斤</small>		一〇九、〇九三 <small>千斤</small>
三年度末		九七、六六〇		九四、二〇〇		一〇七、〇八一
四年度末		八〇、七七六		一四、〇〇四		九四、七七二
五年度末		六五、七〇三		一五、三六二		八一、〇六五
六年度末		七八、四四〇		一二、九四七		一〇一、三八八
七年度末		七三、八六六		九、五三六		八三、四〇二
八年度末		二二二、九五六		一七、三四五		二四〇、三〇二
九年度末		五〇九、四七八		五、七七五		五一五、二五四
十年度末		四三二、三三〇		一一、四七二		四四四、八〇三
十一年度末		四六五、六八六		五、八八四		四七一、五七〇

第二節 回送

專賣制施行ノ當初鹽ノ販賣ハ產地ニ於テ取扱ヒ回送ハ全ク鹽商人ニ委シタリシモ後賣渡請求者ノ要求ニ依リ回送販賣ノ途ヲ開キ其ノ回送ハ適當ノ請負人ヲ選定シ之ニ當ラシメタリ然レトモ鹽供給ノ圓滿ヲ期スルニハ非產地ニ販賣鹽倉庫ヲ設置シ常時貯藏ヲ爲スノ必要ヲ認メ官費回送ヲ行ヒ回送及荷揚倉入等ノ實費ハ鹽賣渡ノ際徴收シタリ廳テ賣販